

表町エリアにおける “まちなか化石探検”

矢部 久智¹⁾

キーワード：まちなか，表町，天満屋，クレド岡山，ブルガリ，化石探検

1. はじめに

私は23年前岡山理科大学に席を置く学生でした。4年生になり卒業研究をするにあたり、ひょんなご縁から板谷研究室のゼミ生になったのが地質学、また竹下さんとの出会いであります。そんな私有家業である文房具、事務機の小売業をしている有限会社ソバラ屋に入り数年後「会社を立ち上げる事になったから」とお声掛けを頂き現在までお世話になっているところであります。

さて、前置きはこのくらいにしてそろそろ本題に入ります(笑)。

そんな私が勤務します弊社、有限会社ソバラ屋は岡山市の表町商店街の中にあります。私達の商店街は、同じ表町エリアの商施設である天満屋、岡山ロッツ、クレド岡山と共に「ミンナ表町」共同事業体を組織しています。その「ミンナ表町」で2012年7月30日に夏休みの親子参加型のイベントとして、当時の林原自然博物館の石垣館長と環境学習センターアスエコの協力により「ちびっこ化石探検隊」と題し、表町の商施設にある化石を探して観察するという企画を実施しました。参加した子供たちの喜びようもさることながら、私自身が「こんなにも身近に、こんなにもはっきりとわかる化石が表町エリアに存在するのか」と驚いたのをはっきりと覚えております。

今回は、当時の記憶をたどりながら、岡山市の表町エリアで化石を身近に見ることのできるポイントを紹介させていただきます。説明に間違いがあるかもしれませんがご容赦ください。なお、本文中の写真は2015年3月に竹下さんによって撮影されたものです。

2. BVLGARI (ブルガリ) 天満屋岡山店別館

表町商店街の下之町エリア、天満屋の前にあるブランドショップ「BVLGARI (ブルガリ) 天満屋岡山店別館」の壁面に2箇所はっきりそれとわかるアンモナイトの化石があります(図1)。一つ目は、向かって右下の壁面(図1B)に、



図1 表町商店街のブルガリショップ。A: 店舗正面の壁面，B: アンモナイトの化石。

もう一つは正面入り口の左側面の上の方にわりとはっきり見ることができます。ただし後者はブランドショップの入り口なので見るのにちょっと遠慮しちゃいますけどね。

3. 天満屋岡山地

天満屋岡山地は化石の宝庫です。正面玄関、1階床面、3階店舗壁面、6階みどりの広場に隠れている化石を順に紹介します。

3.1. 正面玄関の柱及び壁面

岡山の百貨店「天満屋」は県庁通りに面した北側が正面玄関になります。その正面玄関の柱や壁面(図2A)に使われている白い石材にも多くの化石が隠れています。知らなければ全く気づく事も無いのですが、それと分かれば簡単に見つけられるのです。ここでは大量の二枚貝の化石(図2B)が見られます。

3.2. 店内1階床面

天満屋の正面玄関より入店し、インフォメーションを過ぎ、化粧品売り場に入った所に珊瑚の化石が見られます(図3)。この珊瑚の化石は1階床面に多数見られ、その形

1) 有限会社ソバラ屋 〒700-0822 岡山市北区表町3-5-17 (h-yabe@sobaraya.com)



図2 天満屋の正面玄関。A：柱の前で観察する筆者ら，B：これも二枚貝？

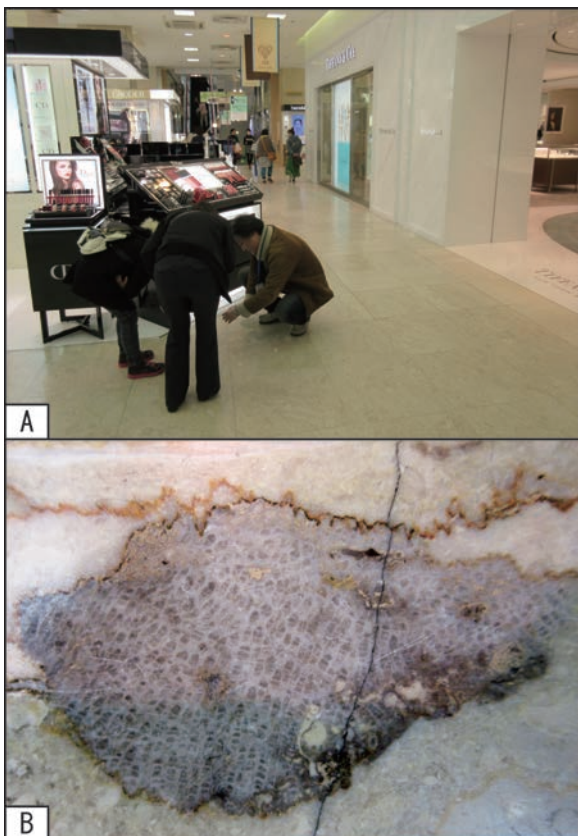


図3 天満屋1階の床。A：床面は化石の宝庫，B：珊瑚の化石。

の違いを楽しむ事ができます。中には「これは海綿かも」と思う物もあるのですが、私にはその正確な見分け方が分かりません。

3. 3. 店内3階 Max Mara 壁面

天満屋の3階にあるブランドショップ「Max Mara (マックスマラー)」の壁面 (図4A)。このすべてが化石の宝庫です。イカの骨 (ペレムナイト) の化石らしきもの (図4B) や綺麗な巻貝の化石 (図4C) を見つけることもできます。さすがにブランドショップなので正面の壁をじろじろ見るわけにはいかないのですが、階段に向かう側面の外壁は人目を気にせず、じっくり探することができるのでお勧

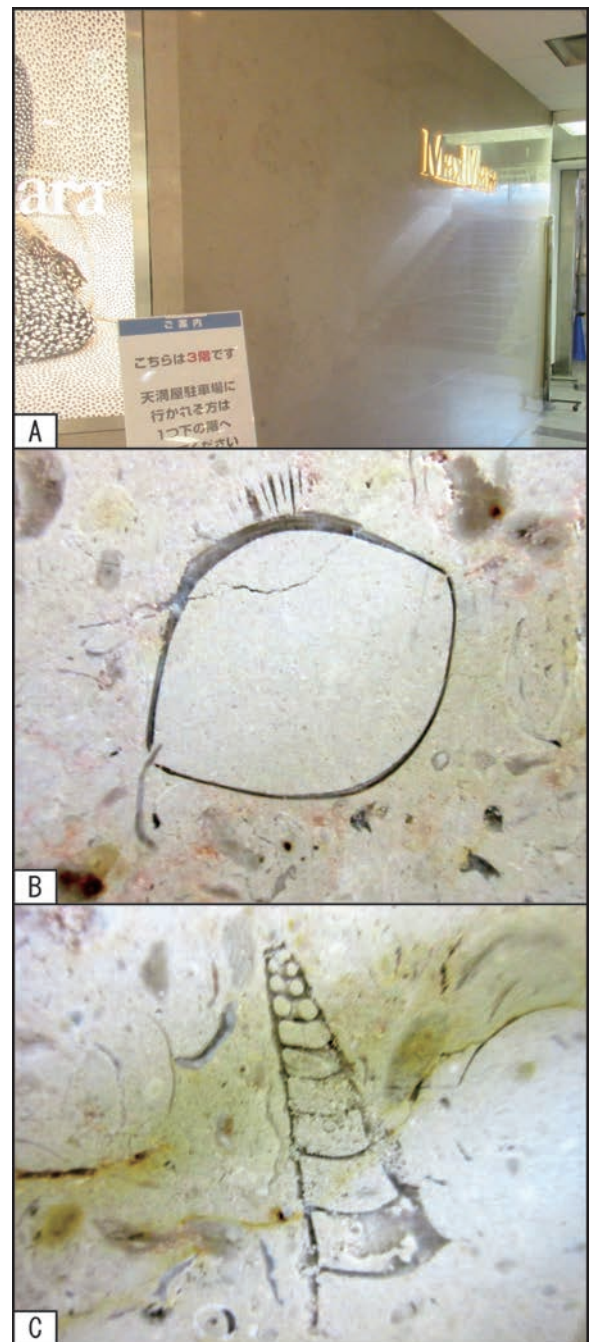


図4 天満屋3階のMax Maraの壁面 (A)。B：壁の真ん中上部にあるイカの骨 (ペレムナイト) の化石，C：綺麗な巻貝の化石。

めです。

3. 4. 6階みどりの広場（喫煙スペース）

天満屋6階、葦川（いせん）会館に向かう通路、中庭の様な所を「みどりの広場」と言うのですが、この広場の喫煙スペースの床に「ウミユリ」や小さな「アンモナイト」の化石を見ることが出来ます（図5）。休憩スペースなので、足元を何かを探そうとうろろしていると休憩中のおじさんから「何か落としたの」なんて声を掛けられます。「化石があるんですよ」なんてお話をすると、近くにいた人まで探し始めちょっとしたゲームのようになります。

さて、次は天満屋を離れ、県庁通りを少し西に進んだ商施設「クレド岡山」へ移動です。

4. クレド岡山

エレベーターで20階まで昇ると「ほらそこにも、あそこにも」とアンモナイトを中心に化石を発見できます（図6）。エレベーター昇降口の壁面（図6A、6B）、エレベーターフロアの床、岡山市を南に臨むことのできる展望休憩所の床面（図6C、6D、6E）などです。

展望休憩所の床面に見ることのできるアンモナイト（図6D）は、空気を溜めて浮力を担っていた気房（きぼう）の仕切り板もしっかり見ることができ、子供たちにアンモナイトの説明をするにはもってこいの化石です。また、このフロアで最も珍しい化石は、石垣館長曰く図6Eらしいのですが、これが何の化石なのかは忘れてしまいました（残念）。

さらに、ここには女性しか見ることができない立派なアンモナイトの化石があります（図6F）。なぜなら…女性用

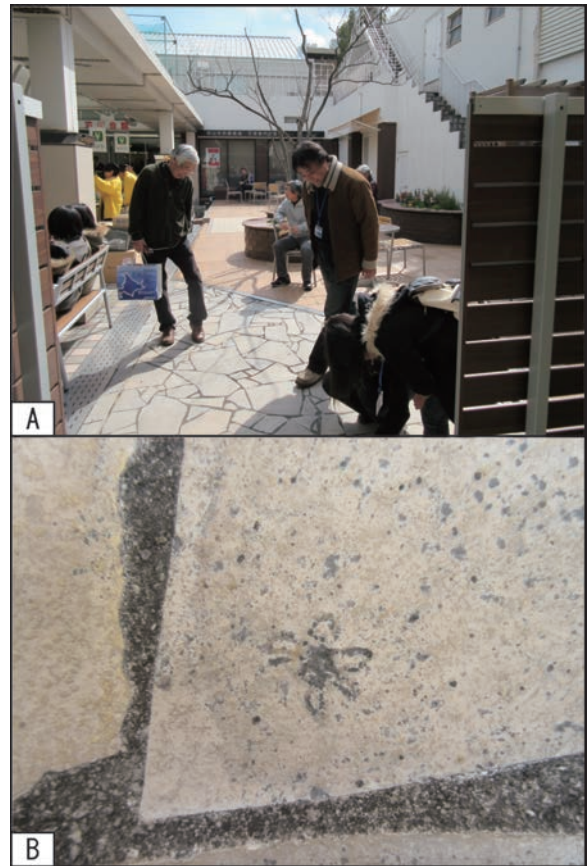


図5 天満屋6階のみどりの広場。A：喫煙所，B：星やクモの様なウミユリの化石。

の化粧室にあるからです（汗）。ですから私は今回の化石の中で唯一この1点は直に見たことがありません><。図6Fの写真は竹下さんの奥さんの撮影です。

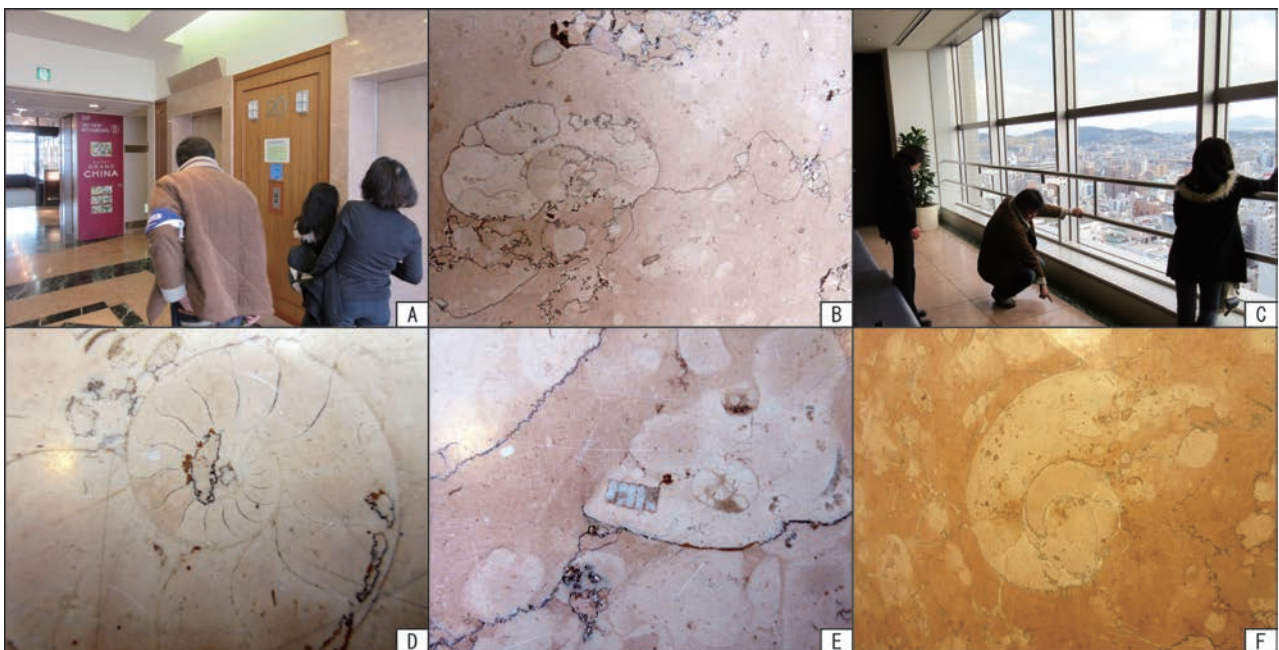


図6 クレド岡山20階。A：エレベーター昇降口の壁面，B：その壁面にあるアンモナイト化石，C：展望休憩所（指し位置にDがある），D：気房の仕切り板もはっきり見えるアンモナイト化石，E：真ん中のハシゴ状の化石が珍しい，F：女性化粧室にある立派なアンモナイト。

5. おわりに

今回紹介した化石産出地点はこの6か所ですが、このほかにも表町エリアでは化石の入った石材が壁や床に使われているところが多くあります。もちろん表町エリア以外にも、駅や公園など気に留めなければそれまでなのですが、意外に身近に、意外にも多くの化石を見つけることができます。皆様もお子さんやお友達と一緒に、気軽な「まちな

か化石探検」を楽しまれてはいかがでしょうか。そして、ぜひ表町エリアの化石探検に…いや、お買い物にいらしてくださいね。

謝辞

今回の写真撮影を快く応じていただきました BVLGARI (ブルガリ)、天満屋岡山店、クレド岡山のご担当者の方々にお礼を申し上げます。

2015年5月27日受付, 2015年7月7日受理.

Engineering Geology of Japan, No. 5, 'The special issue of 20th anniversary of Hiruzen Institute for Geology and Chronology', 153-156 (2015)

The finding fossils in the town of the Omotecho area, Okayama

Hisatomo Yabe¹⁾

¹⁾ Sobaraya, Co., Ltd. 3-5-17 Omotecho, Kita-ku Okayama 700-0822, Japan

© 2015 Hiruzen Institute for Geology and Chronology. All rights reserved.